



●● 定着率「七・五・三」って？ ●●



就職したのにすぐに辞めてしまう若者が多いんだよね。

就職して3年以内に中卒の7割、高卒の5割、大卒の3割が離職する現象について、かなり前から「七五三現象」といわれているんだよ。2011年度の厚生労働省の若者雇用関連データによると、卒業3年後の離職率は、中学64.8%、高校39.6%、大学32.4%となっていて、特に1年以内の離職率が高くなっているんだ。定着率が良くないんだよ。



どうして辞めてしまうんだろう？

厚生労働省の雇用動向調査では、初めて勤務した会社を辞めた理由のトップは、「仕事が自分に合わない」の24.5%で、「労働時間」が23.8%、「賃金」が20.9%と続いている。



「仕事が自分に合わない」ということは、「思っていた仕事のイメージが違った」ということなのかな。

理想と現実のギャップということだね。
やっぱりイメージなんだ。



「労働時間・休日・休暇」それに「賃金」！
就職したけど労働条件が合わなかったという若者が多いんだね。

若者側だけの問題じゃなく、企業側の働き方にも工夫が必要になってきているんだよ。



働きたくなる環境を整えることがポイントになるね。

次回は建設業の求人がどうなっているか見ていきましょう。

